

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 公園スタジアム課
 担当名: 公園計画・事業担当
 内線: 5397
 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B2	社会資本整備総合交付金(公園)事業費		一般会計	土木費	都市計画費	公園費	社会資本整備総合交付金(公園)事業費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	都市計画法、都市公園法			宣言項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備	
					分野施策	051245 みどりの保全と再生		
1 事業の概要 都市環境の改善やレクリエーションの場を提供し、都市生活にうるおいと安らぎをもたらすとともに、災害時には避難場所、救援活動の拠点となる公園の整備を進める。一方で、老朽化により安全安心な利用確保が難しい公園施設が増えてきていることから、長寿命化計画に基づき計画的に更新・改修を行い、安全・安心な都市公園環境の形成を図る。 (1) 社会資本整備交付金(防災安全)事業費 120,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 公園の新規供用に向けた施設整備を実施する。 (権現堂公園) 120,000千円 (2) 事業計画 ア 各公園3年から5年単位で段階的に供用区域を拡張する。 ～年度別事業計画～ 【平成29年度】公園数4、金額 662,000千円 【平成30年度】公園数2、金額 635,643千円 【平成31年度】公園数2、金額 492,024千円 イ 公園施設長寿命化計画策定に基づき、計画的な改築・更新に取り組む。 ～年度別事業計画～ 【平成29年度】公園数2、金額 70,002千円 【平成30年度】公園数1、金額 32,000千円 【平成31年度】公園数2、金額 25,000千円 ウ 広域的地域活性化基盤整備計画に基づき、施設を改築する。 ～年度別事業計画～ 【平成30年度】公園数1、金額 5,264千円 【平成31年度】公園数1、金額 60,000千円 (3) 事業効果 供用面積が拡大することで、県民の憩いや安らぎの場の増加につながり、災害時での避難場所としての機能も拡大する。 【平成25年度】事業費1,174,400千円、供用面積 9.4ha、まつぶし緑の丘公園ほか4公園 【平成26年度】事業費 945,845千円、供用面積 1.5ha、権現堂公園 【平成27年度】事業費 924,495千円、供用面積 4.5ha、しらこぼと公園 【平成28年度】事業費 869,996千円、供用面積15.4ha、まつぶし緑の丘公園ほか1公園 【平成29年度】事業費 757,423千円、供用面積 0.0ha 【平成30年度】事業費 697,368千円、供用面積16.7ha、羽生水郷公園ほか1公園 (4) 補正予算の概要 国の補正予算による増額補正					
2 事業主体及び負担区分 用地(国1/3・県2/3) 工事(国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 充当率90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.8人=45,600千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	120,000	国庫支出金	60,000	県債	60,000		0	721,497
現計額	601,497	268,512	332,000				985	